



第2回 小児アレルギー スキルアップコース

Pediatric Allergy Skill Up Course (PASCO)

会期

2018年
5月12日(土)
13日(日)

参加費
10,000円

定員：70名
事前申込制

対象

小児アレルギーに
関心のある若手小児科医
(卒後10年まで)

※学会員・非学会員は
問いません

会場

梅田スカイビル

大阪府大阪市北区
大淀中一丁目1番88号

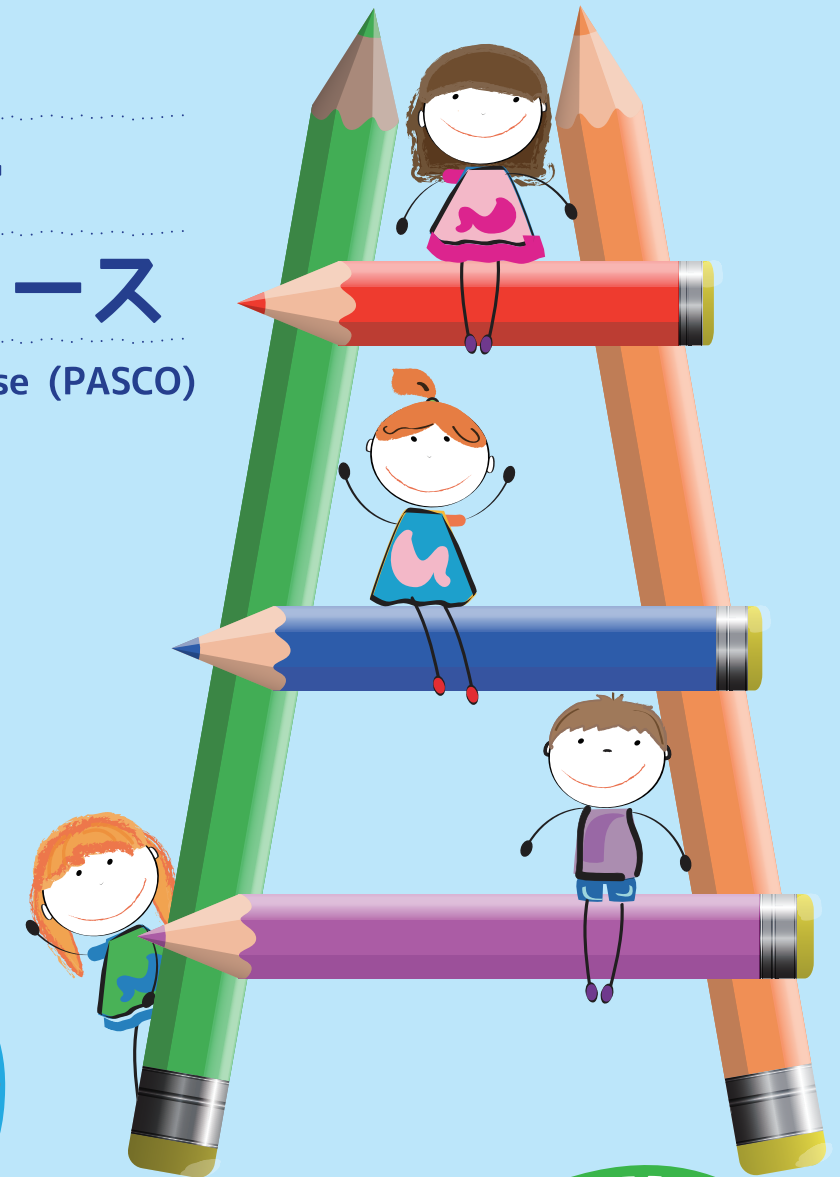
応募受付：2018年3月20日(火)～3月30日(金)

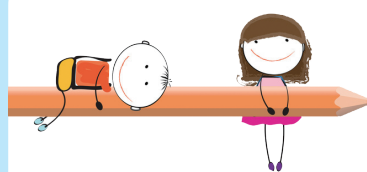
申込URL：<http://www.jspaci.jp>

※参加は抽選となります。ご参加頂ける方には4月中旬までにご連絡致します。



主催：日本小児アレルギー学会



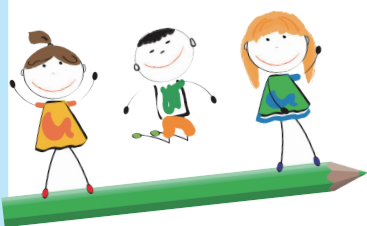


目的

「卵アレルギーが心配と言われて血液検査したけど、次どうすれば？」
 「喘鳴が聴こえたから喘息って診断したけど、次どうすれば？」
 「アトピー性皮膚炎にステロイド外用薬を処方したけど、全然良くならないって言われた。次どうすれば？」
 「卵アレルギーって診断したけど、いつまで除去しないとイケないの？」
 「食物負荷試験って、いつ、どうやって行えばいいの？」

そんな疑問に小児アレルギーの専門家が答えます。

毎日の診療で高い頻度を占めるアレルギー疾患。患者さんからの素朴な質問に対して一抹の不安を持ちながら回答している先生方もいらっしゃると思います。近年アレルギー診療は大きく変化し、より適切な治療や管理方法が求められています。本コースは若手小児科医師を対象に、最新の情報を織り交ぜながら、小児アレルギー診療の基礎となる知識や必要となる手技をマスターすることを目的とします。



到達目標

本コースは、アクティブラーニングを積極的に導入しています。従来の単なる受け身型の座学ではなく、参加者の先生にも一緒に考えてもらいながら基本的な考え方を勉強します。その後、少人数のグループに分かれて、症例シナリオを通じて具体的な診療過程について相談しながら学び、具体的な検査・指導方法などをハンズオンの形で体験します。実地診療にすぐに活かすことができるような内容になっています。

アレルギー 概論

- アレルギー疾患における基本的な問診ができる。
- プリックテストなどの検査法が実践でき、その結果を適切に評価できる。

気管支喘息

- 喘息の状態を客観的に評価するために呼吸機能検査の実施と結果の解釈ができる。
- 具体的な長期管理プランを立てて、患者指導（吸入手技の指導も含め）ができる。

アトピー性 皮膚炎

- 皮膚炎の状態を客観的に評価できる。
- 具体的な長期管理プランを立てて、薬剤（外用・内服）の選択やスキンケアなどの生活指導ができる。

食物 アレルギー

- 簡単な食物負荷試験が実践できる。
- 皮膚テストや血液検査の結果と合わせて総合的な診断ができる。
- 食事や日常生活への指導ができる。



プログラム (予定)

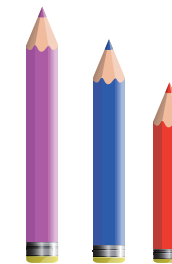
5月12日(土)

ワークショップ

- ・血液検査？ 負荷試験？
アレルギー検査のタイミングとその解釈の仕方
- ・教えます、
喘息のよりよいコントロール方法
- ・痒いアトピー、どう治す？
- ・食物アレルギー、
そもそもどうすればいいの？

ハンズオン

- ・皮膚テスト
- ・スパイロメトリー
- ・呼気一酸化窒素濃度測定
- ・吸入指導
- ・皮膚への外用薬の塗布方法
- ・スキンケア
- ・食物アレルギーによる誘発症状への対応
- ・食事指導
- ・経口負荷試験



12:30 ~ 13:15

受付・オリエンテーション

13:15 ~ 13:45
13:45 ~ 14:15

レクチャー
アレルギー概論 / 気管支喘息

14:30 ~ 16:00

ワークショップ / ハンズオン
アレルギー概論

16:15 ~ 17:45

ワークショップ / ハンズオン
気管支喘息

18:00 ~ 18:30
18:30 ~ 19:00

レクチャー
アトピー性皮膚炎 / 食物アレルギー

19:15 ~ 21:00

意見交換会 (食事あり)

5月13日(日)

9:00 ~ 10:30

ワークショップ / ハンズオン
アトピー性皮膚炎

10:45 ~ 12:15

ワークショップ / ハンズオン
食物アレルギー

12:30 ~ 13:00

まとめ、修了証書授与

《コーディネーター》 足立 雄一 (PASCO 実行委員長、富山大学医学部小児科)
 伊藤 靖典 (富山大学医学部小児科)
 佐藤 さくら (国立病院機構相模原病院臨床研究センター)
 手塚 純一郎 (福岡市立こども病院アレルギー・呼吸器科)
 長尾 みづほ (国立病院機構三重病院アレルギーセンター)
 福家 辰樹 (国立成育医療研究センターアレルギー科)
 村井 宏生 (福井大学医学部小児科)

(50音順)

藤澤 隆夫 (日本小児アレルギー学会理事長、国立病院機構三重病院アレルギーセンター)

《備考》本コースは「2016年度 GSK 医学教育事業助成」による事業です。